

これまで全国の医療機関で冠動脈疾患・不整脈疾患・心臓弁膜症に対して

カテーテル治療を行われたことのある患者さんへ

国立循環器病研究センターでは、厚生労働省から診療報酬情報の提供を受け、「心臓カテーテル治療における実態調査と医療の質評価に関する研究」を行っています。

【対象となる方】2013年4月～2022年3月の間に、冠動脈疾患(狭心症や心筋梗塞など)・不整脈に対するカテーテル治療を受けた方

【研究課題名】心臓カテーテル治療における実態調査と医療の質評価に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター  
情報利用促進部 上級研究員 金岡 幸嗣朗

【研究の目的】

本研究は、患者さんがこれまで受けられた治療等の情報を全国的に集計し、医療の質に関する項目や治療の実態を明らかにすることです。本研究結果の成果は、将来同じような治療を受けられる患者さんにとって、より安全で、質の保たれた医療を全国的に提供することに繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診療報酬情報に記載された以下の情報：年齢(5歳刻み)、性別、病名、入院の有無、入院中・外来での処置・検査・使用した薬剤・医療材料に関する情報、入院・外来転帰(死亡など)

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

本研究では厚生労働省において匿名化されたデータベースを用います。このデータベースにはお名前や住所など個人を特定できる情報は含まれていないため、本研究において個人の特定は困難です。提供されたデータは決められたガイドラインに従い、厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 情報利用促進部

担当研究員 金岡 幸嗣朗 電話 06-6170-1070(代表) (内線 40257)